

指導がしやすい 題材紙面構成

造形的な見方・考え方に着目させる問い掛けをはじめ、先生の指導のしやすさを考えた紙面構成です。授業の流れを考えやすく、かつ多様な展開も期待できます。

題材名

活動や目的をイメージさせるとともに、生徒の意欲を引き出す工夫も。

鑑賞の入り口

この題材で作品鑑賞をする際の主発問となり、造形的な見方・考え方に気付かせるための問い掛け。

主文とQRコンテンツ

この題材に必要な造形的な見方・考え方を示し、授業の導入で使用しやすいように問い掛け型の文章でまとめている。さらに文末にある二次元コードは、題材導入QRコンテンツ「学びのはじめに」にリンクし、主文と併せて授業の導入に活用できる。

学びの目標

育成すべき資質・能力の「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱に基づいた目標を、生徒にも分かりやすい言葉で設定。導入時のほか、学習途中や振り返りでも活用できる。

作者の言葉

その作品の主題や、表現の工夫点等について作者自身の言葉で語られている。発想・構想のヒントとしても活用できる。

表現のヒント

発想・構想の手立てや、技能面の補足を示している。

造形的な視点

この題材で着目させたい造形的な視点(共通事項)や考えさせたい効果等を提示している。

ここがこだわり

白地を基調として作品を生かす

私たちは教科書を含め、沢山の本の誌面のデザインをします。その中でもこの美術の教科書は特別です。掲載されている作品を生かすために白地を基調として、余計な装飾は極力抑えたデザインにしました。主文の位置など整理して、学びの内容が伝わりやすくしました。この教科書紙面自体も、デザインの「見本」として見て欲しいと思っています。

アートディレクター
ほそやまみつのぶ
細山田デザイン事務所 細山田光宜さん

TOPICS

鑑賞と表現を関連させて 学びを深める

題材ごとに何に着目してどう考えればよいのかという「見方・考え方」に気付かせるために、「鑑賞の入り口」と「造形的な視点」を示しています。これらを基に掲載作品などの「鑑賞」-生徒自らの「表現」-お互いの作品の「鑑賞」を行うことで学びの定着を図ります。

代表著作者 村上尚徳先生

彫刻
鑑賞

人間って おもしろい

鑑賞の入り口 その人の人柄や心情はどこから感じられるのだろうか。

学びの目標

- 顔の角度や表情、しぐさ、色彩などに着目し、印象をとらえ、材料や用具を工夫して表す。
- 身近な人の印象や性格などをもとに、表情や色彩、構図の工夫を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。
- 身近な人を見つめ、特徴をとらえて人柄などを表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。



18 温かい人間の精神を深め、ほかの人々に対し思いやりの心を持つ。



① 編織り [アクリル・紙/113×83cm] インド



② 鑑賞 文夫 [銅/高さ180.8cm] 1910 朝倉文夫 [東京都] 朝倉文夫 [大分県・1883~1964]

あなたの周りには、どんな人がいるのでしょうか。友だちや家族など、その人ならではのしぐさや表情を思い浮かべて、その人らしさは一体どこからきているのか、考えてみましょう。

人物を表すことは、表す人をよく理解し、その人に対する気持ちに向き合うことにもつながります。表す人を改めて見つめ、あなたの気持ちまで表せるように工夫しましょう。



表現のヒント

ポーズを取り合い構想を練る
友だちにポーズを取ってもらい、いろいろな角度からしぐさや表情を見ながら、表したいことを考えよう。



ICT
真正面や左右、後ろなど、方向を変えたと見えてくることがある。自撮りも上下に変えるなど、さまざまな視点から見ることが、その人らしさを捉えてみよう。

造形的な視点

顔の角度や表情、しぐさ、色彩などに着目し、どのように生かすか考えよう。

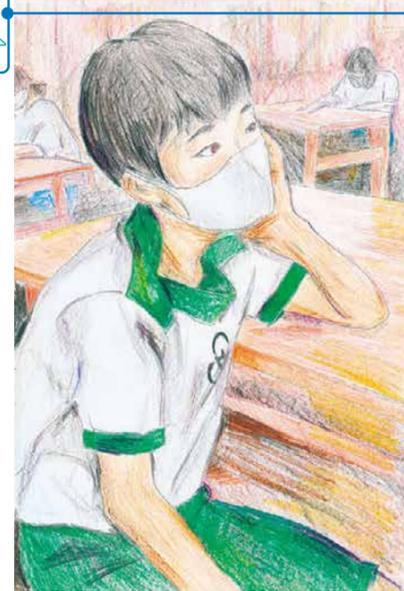


③ 自分の一冊の友だち [バスアクリル・イラストボード/51.5×72.8cm]

作者の言葉
時間をかけて顔色や髪色の表現を学習しました。どんな色も変化して、深まっていくのが楽しかったです。



④ 部活終わりの帰り道 [彩色・加工粘土・針金・ステンボード・身辺材料/18×28×15cm]



⑤ おしをつく友だち [鉛筆・色鉛筆・紙/34.5×23.5cm]

Check! そのほかの題材紙面構成は
→ 12・13ページをご覧ください。

鑑賞 見る・考える・気付く

表現と鑑賞の 一体化を意識した 学習の流れ



主文を読み、題材導入QRコンテンツ「学びのはじめに」を視聴し、題材の全体像を理解する。



「鑑賞の入り口」の問い掛けを基に、教科書の作品を鑑賞しながら、その人らしさがどこから感じられるか考える。



人柄や心情はどこから感じられたかを発表して、「造形的な視点」に気付く。

表現 考える・生かす



ポーズや構図を変えて、その人らしさを表す表現を探してみよう。

作品を鑑賞したり、表現のヒントを参照してタブレットを活用したりして、表したいことやイメージの構想を練る。表現活動中も適宜「造形的な視点」を意識する。

鑑賞 確かめる・広げる・深める



色づかいがやわらかくて、優しい感じが伝わるね。

お互い顔を寄り添わせて仲がいいんだね。

完成作品の振り返りは、「造形的な視点」を基に根拠を持って鑑賞する。また、「鑑賞の入り口」の問い掛けを再確認することもできる。

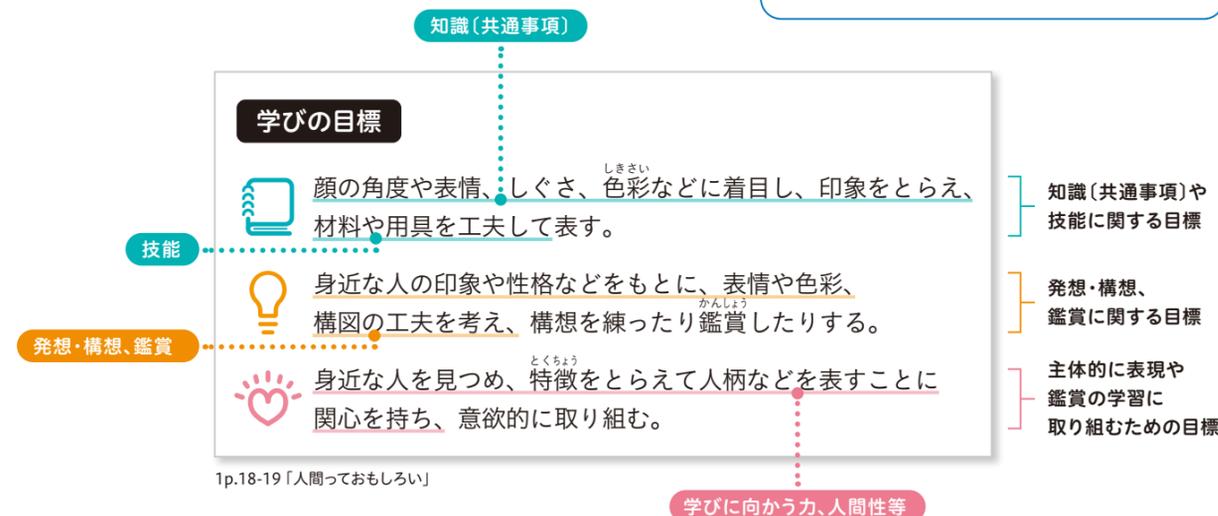
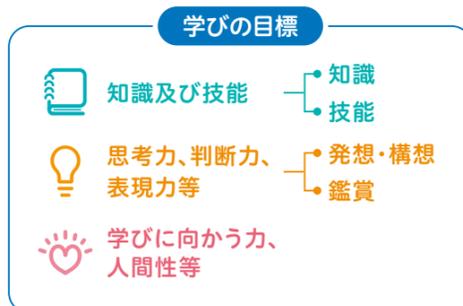
指導を支える紙面の工夫

題材ページでは、指導のしやすさを考えた構成のほか、学習に役立つ工夫を随所に取り入れています。

「何を学び」「何ができるようになるか」を分かりやすく

学びの目標は評価と一体化

「学びの目標」は3観点でまとめていますが、5項目に細分化できるように分かりやすく示しています。「思考力、判断力、表現力等」は、発想・構想の目標(A表現)と、鑑賞の目標(B鑑賞)の両方を示し、表現と鑑賞を往還しながら活動することを大切にしています。目標の5項目は、そのまま評価の観点につながります。



表現と鑑賞マークで資質・能力を総合的に

表現と鑑賞マークは、表現と鑑賞が相互に関連していることを示しています。活動の中で常に発想・構想と鑑賞の資質・能力を総合的に働かすことを意識できるように、全ての題材に配置しています。



鑑賞マークのみは、美術作品や美術文化に関する鑑賞領域の題材で表示。

TOPICS

表現と鑑賞は一体的に学習

学習指導要領では、指導計画の作成に当たって発想・構想に関する資質・能力と鑑賞に関する資質・能力とを総合的に働かせて学習を深めるようにすることが示されています。教科書では表現と鑑賞マーク表示のほか、学びの目標等の文章の工夫で、表現活動にも鑑賞が含まれていて、相互の関連を図った授業展開ができるように配慮しています。

学習の幅を広げるさまざまな工夫

情報機器活用のヒントを示したICTマーク

表現や鑑賞の活動の中でタブレットPC等の情報機器を活用して取り組む事例を紹介し、情報活用能力の育成にも配慮しています。



1p.18-19「人間っておもしろい」

タブレットPCで構想を練る



タブレットPCなどで、つくりたい動物の骨格標本や筋肉解剖図を映し出し、関節の位置や筋肉のつき方などを確認しながら制作を進めてみよう。

2・3上p.18-19「しくさて語る動物たち」

弾力的な指導計画を可能にする短時間題材の設定

短い時数でも表すことのできる作品を掲載しています。短時間での題材を設定することで、柔軟な指導計画を可能とし、1年間でより多くの資質・能力を育てることができます。



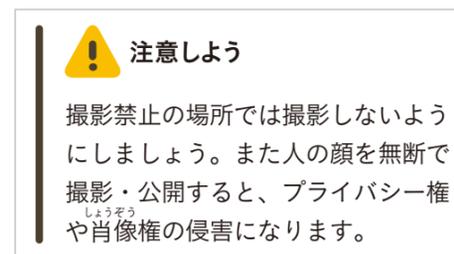
1p.20-21「材料に命を吹き込む」
立体表現の題材での短時間題材の一例。



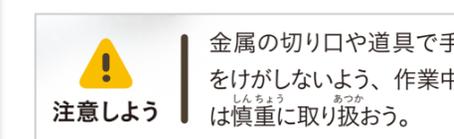
2・3下p.9-13「わたし自身を見つめて」
顔の一部分だけ描いて表現する自画像での短時間題材の一例。

確認しやすい活動中の注意点

活動中の材料や用具の取り扱い等について、必要な場面では目立つように安全指導を掲載し、注意を促しています。



2・3下p.42-43「動きで伝えるメッセージ」



1p.20-21「材料に命を吹き込む」

全題材の主文とセットで 題材導入動画(QR)を新設

主文にある「造形的な見方・考え方」を軸にした題材導入動画「学びのはじめに」を新設しました。
これにより、指導内容がより明確になり、学校の実情に合わせてどの立場の先生でも活用しやすいようになりました。

人物を表すことは、表す人をよく理解し、その人に対する気持ちに向き合うことにもつながります。表す人を改めて見つめ、あなたの気持ちまで表せるように工夫しましょう。



1p.18-19「人間っておもしろい」

どんな授業でも使えるように 題材導入動画「学びのはじめに」とは

題材の主題の生成や、何を学んでほしいかを動画によって提示できるよう、2分程度の短い導入動画を全題材で用意しました。先生の授業準備の負担を軽減し、どのような立場の先生にも活用しやすいコンテンツです。

題材導入動画活用のメリット

1

授業準備の際に、これまで先生たちが自作していた導入資料に代わる内容となり、負担が軽減されます。

2

若い先生だけでなく、講師や免許外の先生、再任用の先生等、どのような立場の先生も授業に合わせて使えます。

3

指導が苦手な分野では、先生が生徒と一緒に視聴しながら取り組むことで、安心して指導でき、さらにカリキュラムの幅が広がります。

日文的 ここがこだわり

個別最適な学習にも対応

- 忙しい先生たちでも使えるように、現場著者の先生3人でチームを組んで、活用場面や、先生方の現状、学校の実情等を何度もイメージして企画しました。
- 生徒には、自分ごとに捉えて学習してほしい思いで、ナレーションを多用せずに、一瞬考える間をつくる等、動画でありながらも受け身にならないことを大切にしました。
- 約30万人*と言われる不登校生等、多様化した生徒の実情にも合わせて、美術の学びが家庭を通じて保護者にも伝わることを願っています。



著者
横浜市立東山田中学校
荻島千佳先生

*文部科学省資料による(令和5年10月4日公表)

題材導入動画

「学びのはじめに」の特徴

- ✓ 2分程度の短い動画の中で、主題を生成する投げ掛けや、何を学ぶのが提示されている。
- ✓ 生徒が、自分ごとに置き換えて主体的に捉えられるように「あなたならどう思うか?」と問うことで、対話を増やし、言語活動が活発になることを目指している。
- ✓ NHKアーカイブ映像の貴重な資料映像を豊富に使用することで、より生徒の興味関心をひくように工夫している。



伝統工芸題材では、人間国宝の志村ふくみさんが登場。



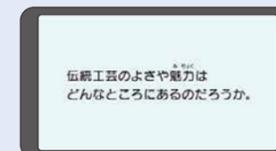
浮世絵の題材では、江戸時代に庶民に親しまれていた様子を映像で再現。

いつ使う?どんな内容?

題材導入動画 「学びのはじめに」 もっと知ろう Q&A

Q いつ見せればいいですか?

A 主文を読む前でも、読んでからでも構いません。動画は<鑑賞の入り口>からスタートし、題材名も確認できますので、動画で導入を進めてください。一斉に視聴することをお勧めしますが、途中で止めて問いを投げ掛けるなど、先生が自由に展開することができます。指導事項や授業展開に合わせて参考資料としても活用いただけます。



全ての動画の最初は<鑑賞の入り口>を表示。



教科書紙面の作品をピックアップして構成。

Q どんな構成になりますか?

A その題材の教科書紙面に掲載された図版を活用して動画にしています。表現・鑑賞題材では、主題を生み出すことができるように、先生役と生徒役の掛け合いで進行します。鑑賞題材では、掲載作品に関連した貴重な映像に迫り、興味関心をひきつけます。



気になる情景として身近な通学路の例示したシーン。



現代美術作品から、不思議なスイング・プールの魅力に迫った映像。

Q どんな動画がありますか?

A ラスコー洞窟壁画や、パチカン美術館のらせん階段、佞武多の祭りの造形、浮世絵が描かれた江戸時代の再現動画、風神雷神図屏風に迫った映像など数々の名画や、貴重な資料映像を収録しています。



「ラスコー」の映像では、復元された洞窟の入り口や内部の映像も。



「パチカン美術館」のらせん階段を多角度の動画で提示。

学年別の指導を考えた3分冊①

表紙と巻頭の一体化

- 生徒のつぶやきの一例
- 先生の発問の一例

日文教科書は、発達の段階を考えた3分冊で編集しています。

各冊の表紙と巻頭オリエンテーションではテーマを一体化させ、学びが途切れないスムーズな授業開きを実現します。

●各冊の巻頭オリエンテーション紙面



1p.2-4「美術との出会い」
ジョルジュ・スーラの作品から、美術の見方や考え方を学びます。



2・3上p.2-4「学びの実感と深まり」
葛飾北斎の浮世絵作品を中心として、さまざまな表現方法について考えます。



2・3下p.2-4「学びの探求と未来」
オラファー・エリアソンの作品から、美術の意味や社会とのつながりについて考えます。

育てたい生徒の姿

美術① 美術との出会い

「図画工作」から「美術」へと教科名が変わる中学1年生では、美術の楽しさや心を豊かにしてくれる世界を体験していきます。身の回りにあるものを形や色彩の視点から見つめ直すことで、新しい発見やイメージが広がることに気がきます。これまでにない見方や感じ方と出会いながら、自分らしさが形づくられていきます。

美術② 学びの実感と深まり

中学2年生では、作品への理解を深め、試行錯誤によって学びを実感することを目指します。幅広いジャンルの作品に触れながら、作者の意図や技法、表現の可能性について学びます。それまでの価値観が揺さぶられ、物事の本質を見いだそうとする姿勢が養われていきます。

美術③ 学びの探求と未来

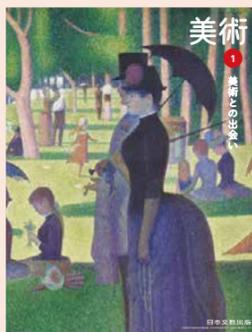
中学3年生では、自己を掘り下げ、新しい価値を生み出していくことに挑戦します。さらに社会や環境の問題へと視野を広げ、美術の力で貢献する方法を学びます。自分の将来を見つめる時期、多様な価値観の存在を理解し、創造的な未来の在り方を探ります。

ねらい

1年生では、形や色彩などを手がかりに「なぜだろう」「どうしてだろう」という「問い」を生み出しながら、じっくりと向き合うことで、見方や感じ方を広げていきます。

2年生では、受け継がれてきた表現の特質、諸外国の美術や文化との相違点や共通点などに着目しながら鑑賞することで、作品への理解を深めるとともに、より幅広く生きて働く知識を身に付け、実感を持って見方や感じ方を深めていきます。

3年生では、現代的な作品のよさや魅力を読み解くことを通して、新しいものの見方や考え方を探求します。その際、作品が私たちに問い掛ける社会や環境の問題へと視野を広げ、美術の意味や社会とのつながりについて学び、創造的な未来の在り方についても考えを深めていきます。



グランド・ジャット島の日曜日の午後
ジョルジュ・スーラ



「富士三十六景」より凱風快晴
葛飾北斎



Tunnel of Light
マ・ヤンソン、ダン・チュン、早野洋介/
MADアーキテクト

導入(表紙)

感じたこと、発見したこと、疑問に思ったこと等を基にして友だちと対話して、新たな視点や考えに出会います。

- 形や色彩に着目して、発見したことや疑問に思ったことを話し合ってみよう。
- 色鮮やかで明るい感じから、日曜日の午後って感じが伝わってくる。
- 作者がこだわりを持って表現したことは何だろう。形や色彩に着目して考えてみよう。
- 小さな無数の色の点で描かれている。どうしてこんな描き方をしたのだろう？

富士山のイメージを簡単にスケッチすることで、北斎が富士山の魅力をどのように表現しようとしたのか、造形的な視点で考えていきます。

- 自分の中にある富士山のイメージを簡単にスケッチしてみよう。
- 富士山ってこんな形をしていたかな。
- 北斎が富士山の魅力をどのように表現しようとしたのか考えながら鑑賞してみよう。
- 北斎は赤く染まる富士山の魅力を、裾野や青空と対比することで、より一層、美しく表現している。

現代美術が、常識にとらわれない新しいものの見方や考え方で、創造的な未来の在り方を探求していることを確認します。

- マ・ヤンソンの作品のよさや魅力がどこにあるのか考えてみよう。
- 普段は気付かない日常の美しさや価値を、作品を体験することで再発見させてくれる。
- 作者は美術の力で何を伝えようとしていたのだろう。
- 美術によって、地域や社会の新たな価値を創造している。

展開(巻頭オリエンテーション)

作者が大切にしたい表現意図や表現方法(描き方)を考えていきます。

- 気付いたこと、疑問に思ったことなどから作者の意図やこだわりを考えてみよう。
- 人物の配置や大きさなどにこだわっていて、絵の中で実験しているみたい。
- 作者はなぜ、小さな無数の点で絵を描いたのでしょうか？
- 他の画家と違った方法で描くことで、独自の表現を試行錯誤していたのかな。

繊細で大胆な表現を実感を持って理解した上で、なぜ、版画として表現されたのかを考えていきます。

- 表紙の作品から魅力を感じた部分をトレースしてみよう。
- 単純な形に見えただけ、とても繊細な表現をしていることが分かるな。
- なぜ、この絵は版画として表現されたのだろうか。
- 版画にすることで、たくさんの人に見てもらおうと考えたのではないかな。

エリアソンの作品鑑賞から、美術の意味や社会とのつながりについて考えを深めます。

- エリアソンの作品は、私たちにどのように「問い」を投げ掛けているだろうか。
- 切実な環境問題について、体感できるように作品化されている。
- 表紙の作品も含めて美術の意味や、社会とのつながりについて考えてみよう。
- 問題提起や価値の創造など、社会とのつながりを問い掛けているようだ。

表紙と巻頭オリエンテーションを使った授業開きの例

学年別の指導を考えた3分冊②

3年間の成長に寄り添った題材

各冊ごとに発達の段階を考慮した内容で、かつ系統立てられた題材設定をしています。
各学年の成長に応じたきめ細かい学習指導を可能にします。

TOPICS

2年生と3年生では成長の度合いが違う

美術科は、心の成長や知的な理解力の深まりとともに学びが変容していく教科です。中学2年生と3年生では成長の度合いに違いがあり、学習指導要領にも「第2学年と第3学年の発達の特性を考慮して内容の選択や、一題材に充てる時間数などについて十分検討すること」が新たに記載されました。本教科書は、発達の段階に即した3分冊構成で、各学年に応じた学習指導を行っていただけるように編集しています。

代表著者 村上尚徳先生

美術①
美術との出会い

1年生ならではの題材 身近なものを対象に



1p.14-15
「そのものらしさを形にして」
身近なものの「そのものらしさ」を捉えて表現する。

1p.18-19
「人間っておもしろい」
身近な人の人柄や印象を表現する。



1p.38-39
「つなげて広がる模様の世界」
形や色彩で生活を楽しく彩る作品。



1p.50-51「暮らしを彩る土の造形」
材料の特性を考えて、身の回りを使うものをつくる。

表紙・巻頭からつながる題材や学び

スーラの表現への姿勢を学んだ後に「見つめて、感じて、描いて」や「なぜか気になる情景」等の描く活動につなげていくことで、表現の広がりが期待できます。さらに「色彩の基本・仕組み」の色彩の資料を活用して、スーラの表現方法をさらに深く学ぶことも考えられます。



1p.16-17「なぜか気になる情景」
見方を変えることで、身近な風景のよさを再認識する。



1p.12-13
「見つめて、感じて、描いて」
質感や色彩等、そのものの特徴を捉えて描く。

美術②
学びの実感と深まり

2年生ならではの題材 多様な表現に触れ、気付きや学びを実感



2・3上p.20-21
「イメージを形にすると」
感覚や感情等、形のないものを表現した作品。

2・3上p.32-35
「日本の技と心を受け継いで」
地域の美しさを表現した和菓子作品。



2・3上p.40-41
「ひと目で伝わるみんなのデザイン」
図や絵で情報を伝えるピクトグラムのデザイン。



2・3上p.12-13「瞬間の美しさを形に」
人の動きの躍動感や緊張感を表現する。

表紙・巻頭からつながる題材や学び

浮世絵の表現への興味・関心が高まったところで、学びを支える資料「北斎の大波」で、西洋絵画と比較鑑賞をします。比較することで日本美術の特色に着目させ、さらに「浮世絵っておもしろい」につなげることが考えられます。



2・3上p.56「北斎の大波」
ゴッホの作品と「神奈川沖浪裏」の表現方法を比較鑑賞する。



2・3上p.24-29「浮世絵っておもしろい」
浮世絵の表現のすごさを実感的に理解する。

美術③
学びの探求と未来

3年生ならではの題材 自分自身を見つめて、新たな価値の創造へ



2・3下p.9-13「わたし自身を見つめて」
自分と対話することで普段は気付かない気持ちを表現する。

2・3下p.46-47「住み続けられる町づくり」
美術の学びから環境問題の解決を考える。



2・3下p.20-21
「あなたのイメージを探そう」
形を単純化、強調することで、イメージの本質を表現しようとする。



2・3下p.40-41
「魅力を伝えるパッケージ」
商品の魅力が伝わるパッケージデザインを考える。

表紙・巻頭からつながる題材や学び

美術によって「問い」を投げ掛ける視点から、「あの日を忘れない」や学びを支える資料「さまざまなアートに触れよう」を鑑賞することで、美術と社会のつながりについて考えを深めることができます。



2・3下p.24-29「あの日を忘れない」
災害や戦争などの衝撃的な出来事に対し、美術の力で何ができるのかを問い掛ける題材。



2・3下p.48-51
「さまざまなアートに触れよう」
全国のアートイベントを知る資料。

題材配列と系統性

小学校図画工作の学習からの連続性と、中学3年間の発達を考慮した題材配列により、確実な学びが保証されます。生徒の成長に応じて系統立てられた指導計画が作成できます。

小学校 図画工作

- 造形遊びをする活動
- 絵に表す活動
- 立体に表す活動
- 工作に表す活動
- 鑑賞する活動

	美術1	美術2・3上	美術2・3下
<p>表現</p> <p>鑑賞</p> <p>絵や彫刻など</p> <p>【A表現(1)ア・(2)】 対象を見つめて感じ取ったことを表現する</p> <p>【B鑑賞(1)ア(7)】 造形的なよさや美しさ</p> <p>【A表現(1)ア・(2)】 夢、想像や感情などの心の世界を基に表現する</p> <p>【B鑑賞(1)ア(7)】 造形的なよさや美しさ</p>	<p>見つけて、感じて、描いて</p> <p>なぜか気になる情景</p> <p>人間っておもしろい</p> <p>そのものらしさを形にして</p> <p>材料に命を吹き込む</p> <p>刷って楽しむ版画の世界</p> <p>墨と水が描く世界</p>	<p>瞬間の美しさを形に</p> <p>自由な視点で風景を見つめる</p> <p>写真表現の魅力</p> <p>しぐさで語る動物たち</p> <p>筆と水で多彩に表す</p> <p>イメージを形にすると</p>	<p>光に気持ちを込めて</p> <p>わたし自身を見つめて</p> <p>空想の中の不思議な世界</p> <p>あなたのイメージを探そう</p> <p>芸術としての漫画表現</p>
<p>表現</p> <p>鑑賞</p> <p>デザインや工芸など</p> <p>【A表現(1)イ(7)・(2)】 構成・装飾</p> <p>【B鑑賞(1)ア(1)】 目的や機能との調和のとれた美しさ</p> <p>【A表現(1)イ(1)・(2)】 伝達</p> <p>【B鑑賞(1)ア(1)】 目的や機能との調和のとれた美しさ</p> <p>【A表現(1)イ(9)・(2)】 用途・機能</p> <p>【B鑑賞(1)ア(1)】 目的や機能との調和のとれた美しさ</p>	<p>つなげて広がる模様の世界</p> <p>文字が生み出すイメージ</p> <p>形や色で伝えるシンボルマーク</p> <p>見るひとへ楽しく伝えよう</p> <p>暮らしの中の木の工芸</p> <p>暮らしを彩る土の造形</p>	<p>日本の技と心を受け継いで</p> <p>空間を彩る光の装飾</p> <p>思いが飛び出すカード</p> <p>ひと目で伝わるみんなのデザイン</p> <p>その1枚が心を動かす</p> <p>つくる・使う・材料を味わう工芸</p> <p>使う人の立場で考える</p>	<p>思いを込めた卒業記念品</p> <p>自分を表現する色</p> <p>魅力を伝えるパッケージ</p> <p>動きで伝えるメッセージ</p> <p>住み続けられる町づくり</p>
<p>鑑賞</p> <p>【B鑑賞(1)ア(7)】 造形的なよさや美しさ</p> <p>【B鑑賞(1)ア(1)】 目的や機能との調和のとれた美しさ</p> <p>【B鑑賞(1)イ(7)】 生活の中の美術の働き</p> <p>【B鑑賞(1)イ(1)】 美術文化</p>	<p>絵の中にある物語</p> <p>自然の美しさから生まれた</p> <p>屏風、美のしかけ</p> <p>原始の美に出会う旅</p> <p>祭りを彩る造形</p>	<p>現代美術にザワザワザワッ!</p> <p>デザインのできる力</p> <p>浮世絵っておもしろい</p> <p>日本文化との出会い</p>	<p>あの日を忘れない</p> <p>デザインで地域を豊かに</p> <p>ルネサンスが目指したもの</p> <p>仏像の姿に見る人々の祈り</p> <p>どこまで修復すべきか</p>

日文的 ここがこだわり

体の負担を考慮して教科書を軽量化

教科書や教材等、中学生が毎日学校へ持っていく荷物は相当な重さです。私たちは成長期の体への負担を考慮して、教科書に使用する紙を、従来通り再生紙の中でも良質な

コート紙を選びながら、できるだけ軽いものを使用しました。各冊とも現行教科書と同じページ数で、それぞれ30~40g程度の軽量化を実現しています。

絵や彫刻題材の一例

情景画の題材では、1年生では主題を設定しやすいように身近な風景に着目させ、2年生では視点の工夫を考えさせ、3年生では光などの造形要素を意識することで、自分の心情まで反映できる内容となっている。

デザインや工芸の一例

伝達の題材は、各学年で複数設定しているため、実情に合わせて題材を選択することができる。例えば1年で文字デザイン、2年で図や絵で内容を伝えるピクトグラムを学び、3年生では、1、2年での学びを生かしたパッケージデザインを設定すると、生徒の学びもより確かなものに。